

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

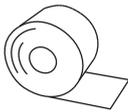
お願い

強風や大雨など悪天候時は、引戸が急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

同梱されているもの

召合せ 内締り錠  2K-6342J 外召合せ錠受: 1セット 内召合せ錠: 1セット	取付ねじ  召合せ錠内障子 取り付け用(短): 2本  召合せ錠外障子 取り付け用(長): 2本	部品交換要領書  本書 1枚
--	--	--

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー  1本	セロハンテープなど 
---	---

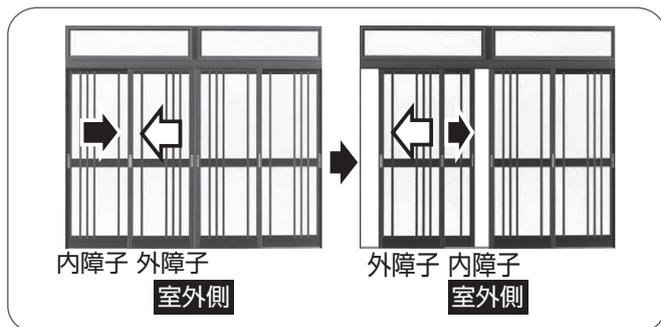
※部品が全てそろっていることを確認してください。

部品の取りはずし方

お願い

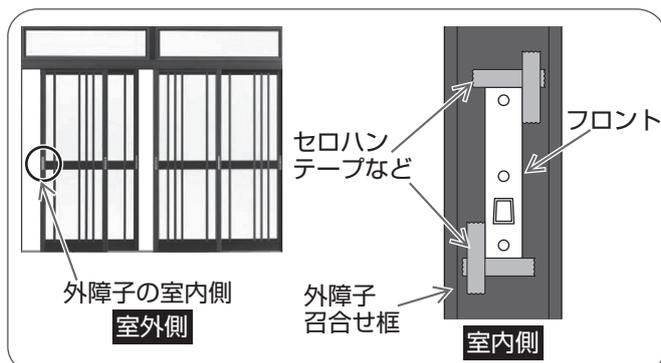
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

1 内締り錠側の障子を行き違える



室外側から見て左側(内締り錠側)の障子2枚を行き違えて内締り錠の召合せ面の錠受フロントおよび錠本体を見せるようにする。
※引戸の勝手(通用側)を変更されている場合は、左右逆になります。

2 外召合せ錠受(外障子側)のフロント位置のマーキング



外障子の召合せ枠の室内側に取り付けているフロントの角部にセロハンテープなどを使って取り付け位置に印を付ける。
※錠取り付け時の位置合わせに必要な手順です。必ず行ってください。

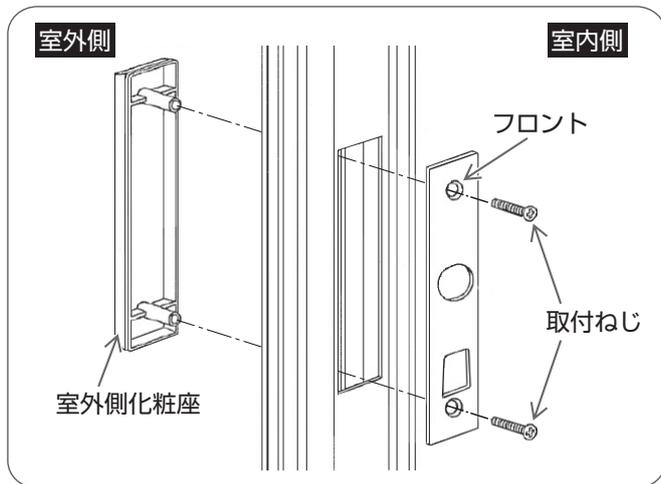
※部品の取り付け方は3ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
 軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

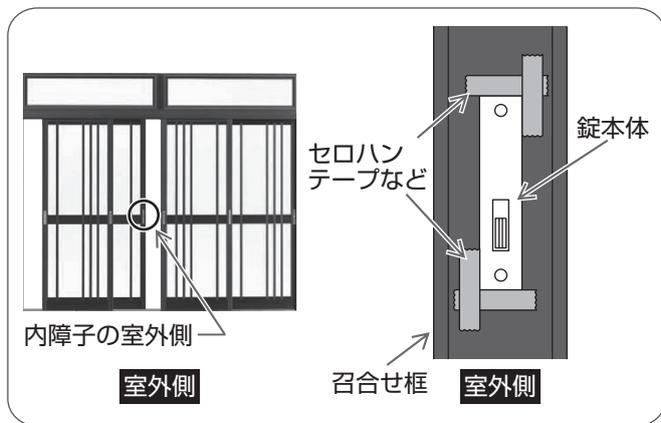
3 外召合せ錠受 (外障子側) の取りはずし



室内側よりプラスドライバーでフロントの取付ねじをはずし、フロントおよび室外側化粧座をはずす。

※取付ねじをはずすと、室外側化粧座がはずれます。落下にご注意ください。

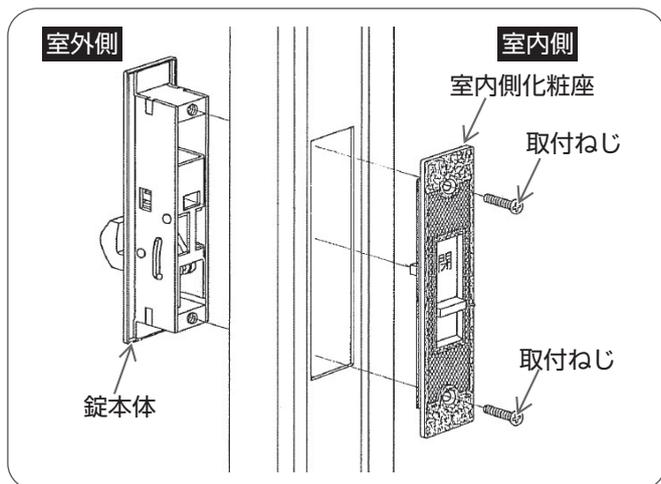
4 内召合せ錠 (内障子側) の錠本体位置のマーキング



内障子の召合せ框の室外側に取り付けられている錠本体の角部にセロハンテープなどを使って取り付け位置に印を付ける。

※錠取り付け時の位置合わせに必要な手順です。必ず行ってください。

5 内召合せ錠 (内障子側) の取りはずし



室内側よりプラスドライバーで室内側化粧座の取付ねじをはずし、室内側化粧座および錠本体をはずす。

※取付ねじをはずすと、錠本体がはずれます。落下にご注意ください。

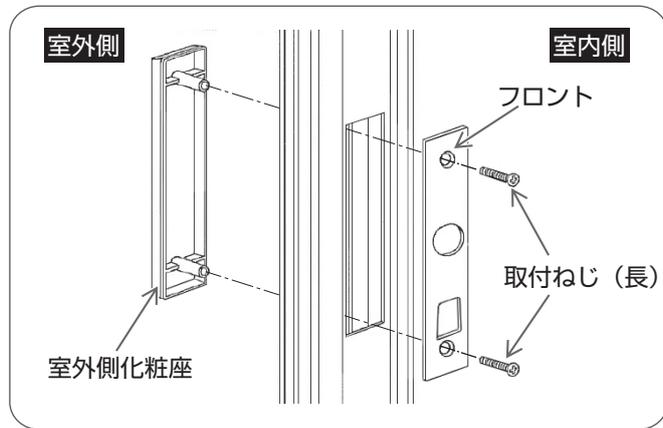
※部品の取り付け方は3ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

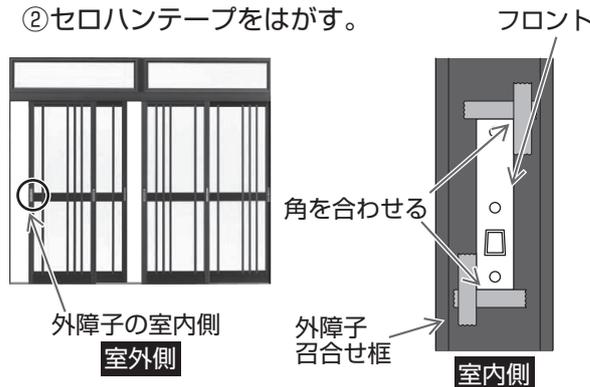
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

1 外召合せ錠受 (外障子側) の取り付け

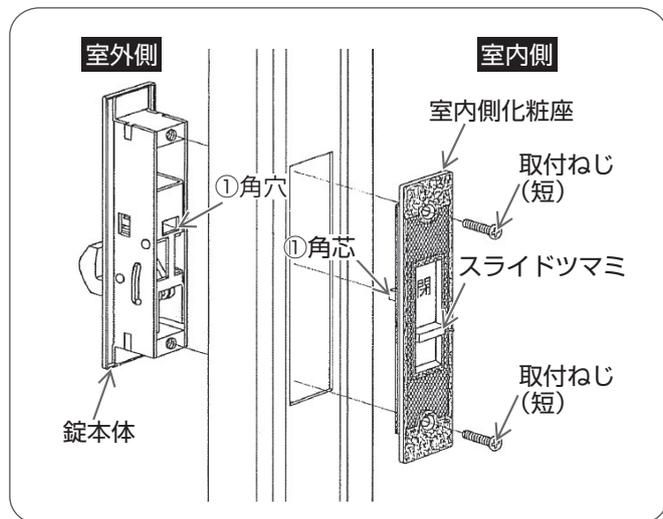


①フロントと室外側化粧座を取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。
※取付ねじをしめる際、フロントの角をセロハンテープの角に合わせてください。(下図参照)

②セロハンテープをはがす。



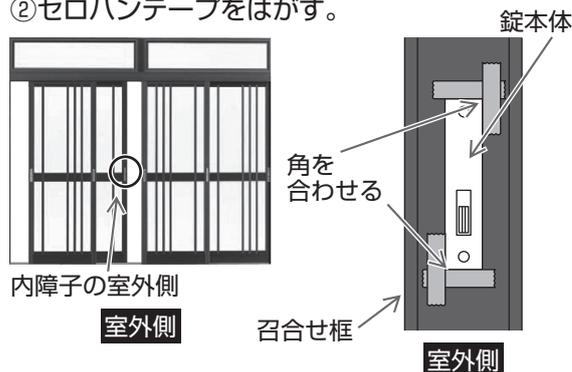
2 内召合せ錠 (内障子側) の取り付け



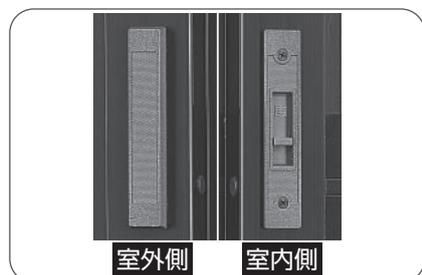
①室内側化粧座と錠本体を取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。
※室内側化粧座を取り付ける際、必ず角芯を錠本体の角穴に差し込んでください。

※取付ねじをしめる際、錠本体の角をセロハンテープの角に合わせてください。(下図参照)

②セロハンテープをはがす。



部品の交換後のチェック



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③スライドツマミを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ④取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。